特集

DXでめざすまち

～デジタルでくらしをより便利に～

インターネットが広く社会に浸透し、デジタルは私たちの生活に欠かせないものとなりました。
市が行う行政サービスにおいても、デジタル技術を積極的に活用し、誰もがより便利で、安心してくらせるまちづくりをめざすため、今年度「千歳市ＤＸ推進計画」をつくりました。
今回は、【これまでに進めてきたＤＸの取り組み】と【新たに始まるＤＸサービス】について紹介します。

【詳細】行政管理課主査（ＤＸ推進担当）　☎(24)3160　FAX(22)8854

DXってなあに？

ＤＸ＝デジタルトランスフォーメーションとは、デジタル技術を活用し、ビジネス、社会を根本から変え、生活をより良いものに変革していくことをいいます。

ＤＸと聞くと難しい言葉に感じるかもしれませんが、身近なものでは、インターネットによる買い物やスーパーなどのセルフレジ、ロボット掃除機などでＤＸが活用されています。

なぜDXが必要なの？

少子高齢化や人口減少が進む中、将来的な労働力不足への対応が社会的な課題となっています。

これらの課題に対応するため、国は、令和2年に自治体が重点的に取り組むべき事項をまとめた「自治体ＤＸ推進計画」をつくったほか、デジタル庁を発足させるなど、デジタル社会の構築に向けた取り組みを着実に進めています。

市は、これまでも窓口のキャッシュレス化やインターネットから除雪状況が確認できるサービスの導入など、デジタル化に取り組んでおりますが、今後、行政サービスを将来にわたり安定的に提供し、市民サービスを更に向上させることが必要です。

千歳市ＤＸ推進計画とは？

デジタル化による利便性を実感できるまちづくりを進めるために、「**デジタルで暮らしをより便利に 未来を楽しむまち ちとせ**」を将来目標に掲げ、その実現に向け、４つの基本目標（①市民サービスの向上、②持続可能な行政運営、③地域社会の活性化、④安心安全なまちづくり）を定めました。

《主な取り組み》

- 子育てアプリの導入
- デジタルデバイド（情報格差）対策の充実
- オンライン手続きの推進
- デジタルによる健康・医療の充実
- ＡＩ等の活用による公共交通
- カーボンニュートラルの推進
- ごみ収集のデジタル化
- 小中学校におけるＩＣＴ環境の整備
- 窓口サービスの向上
- 各種申請等のオンライン化
- マイナンバーカードの普及促進
- キャッシュレス決済の推進
- 行政事務の電子化の推進
- スマート農業の推進
- Ｗｉ－Ｆｉ環境の整備
- 災害時等におけるドローンの活用
- わかりやすい行政情報の発信

※計画の詳細はこちら ↓

これまでに進めてきたDXの取り組み

公共施設予約サービス
（会議室や体育施設の空き状況が一目でわかる）

公共施設の空き状況を確認したり、施設を予約することができます。

【対象施設例】
- 北ガス文化ホール
- コミセン
- スポーツセンター
- 学校開放
- 総合武道館　など

【予約方法】
①目的、日時などから空き状況を確認
②対象施設を選択

キャッシュレス決済
（市役所窓口での手数料支払いは現金不要）

利用できる決済
- クレジットカード
- 電子マネー
- コード決済

【取扱窓口】
- 戸籍住民課、税務課、会計課（第２庁舎１階）
- 向陽台支所

【対象】
住民票、戸籍謄抄本、各種税証明、狂犬病予防注射済票などの交付手数料、畜犬登録手数料など

デジタルドリルの導入
（小中学校でICT教育を推進）

家庭学習の習慣化を図るためにＡＩ機能が搭載されたデジタルドリルを導入しました。
ＡＩが子どもたちの学習状況に応じた問題を出題することで、一人ひとりの状況に応じた学習を進めることができます。

除雪車両位置情報提供サービス
（インターネットから除雪車両の位置情報を確認）

除雪車両の位置情報や走行軌跡を地図上にリアルタイムで表示し、スマートフォンなどで確認することができます。（冬季間のみ）

市公式LINEによる情報発信

千歳市LINE公式アカウント
「千歳市（@cityofchitose）」

各種申請

転出届、上下水道の開始・停止手続きなどができます。

ごみの分別

ごみの分別方法や地区ごとの収集日がわかります。

窓口混雑状況

証明書発行や住所変更手続き待ちの人数がわかります。

バス案内

リアルタイムで運行情報や路線図などが確認できます。

今月から新たに始まるＤＸサービス

手続きが自宅や外出先でできる「行かない窓口」

何が変わる？

マイナンバーカードを持っていれば、市公式 LINE から住民票の写しや戸籍謄抄本など、私たちに身近な証明書の取得申請が、**窓口に行かなくてもできる**ようになりました。

便利なポイント

①いつでもどこでもスマホから申請可能
②手数料はキャッシュレス決済
③証明書の受け取りは自宅で待つだけ（郵送）

手続きに必要なもの

①スマートフォン（マイナンバーカードの読み取りに対応したもの）
② LINE アカウント（申請者本人のもの）
③マイナンバーカード
④署名用電子証明書暗証番号（6 ～ 16 文字）
⑤クレジットカードまたは PayPay（ペイペイ）

■ 利用できる証明書申請

①住民票の写し（世帯全員・一部）
②住民票の除票
③住民票記載事項証明書
④戸籍の附票
⑤印鑑登録証明書
⑥戸籍謄抄本（全部事項証明書・個人事項証明書）
⑦除籍・改製原戸籍謄本
⑧所得課税証明
⑨納税証明
⑩固定資産評価証明（最新年度のみ、所有資産すべて）
⑪固定資産公課証明（最新年度のみ、所有資産すべて）
⑫固定資産所有証明（最新年度のみ）

利用手順①

市公式ＬＩＮＥ「各種申請」から「証明書種別」を選択し、電話番号、必要通数などを入力します。

利用手順②

マイナンバーカードをかざして本人確認をします。
※署名用電子証明書暗証番号が必要です。

利用手順③

手数料および郵便料をキャッシュレス決済します。
■クレジットカード
■ PayPay

利用手順④

証明書を受領します。
※市から普通郵便で送ります。郵便料が不足するときは、受取人払いとなります。

参加者の声　誰も取り残されないための取り組み　《スマホ講習会を年 10 回程度開催》

スマホ講習会参加者
清水 さん

スマートフォンは持っていましたが、操作が難しいし、どう使えばよいかわからずにいました。そんな時、広報ちとせで《スマホ講習会》の募集記事を見つけ、「やってみよう！」と思い参加しました。

講習会では、優しい先生が地図や LINE の使い方などをわかりやすく教えてくれ、参加前、不安だった気持ちを忘れるくらい、すごく楽しい時間でした。

おかげで今は、キャッシュレス決済を使うことができたり、子どもや孫たちとも LINE で連絡が取れるようになって、すごく嬉しいです。ぜひ参加をおすすめします。

証明書の申請が便利になる「書かない窓口」

何が変わる？

窓口に設置している専用端末にマイナンバーカードなどをかざすと、これまで手書きしていた氏名・住所・性別・生年月日が自動で印字されるようになります。
※法令などに基づき、一部の申請書で署名が必要なものがあります。

便利なポイント

・申請書の記載項目が減少
・受付までの時間が短縮
・キャッシュレス決済で支払いがスムーズ
※キャッシュレス決済は令和 5 年 10 月に運用開始済。

窓口で必要なもの

・マイナンバーカード
・運転免許証
・在留カード
・運転経歴証明書
・特別永住者証明書　のうちどれか 1 つ

■ 手続きできるものと窓口（一例）

①住民票、戸籍、印鑑証明書等の交付など
　▶戸籍住民課（1 階 1 番窓口）
②個人番号カード記載事項変更、電子証明書発行など
　▶主幹（個人番号カード担当）（1 階 1 番窓口）
③国保異動届、後期高齢者医療限度額適用など
　▶国保医療課（1 階 2 番窓口）
④児童手当認定請求、児童扶養手当認定請求など
　▶こども家庭課（1 階 3 番窓口）
⑤固定資産評価証明書の交付など
　▶税務課（1 階 4 番窓口）
⑥介護給付費申請、身体障害者手帳交付申請など
　▶障がい者支援課（1 階 6 番窓口）
⑦介護保険被保険者証等再交付、郵送先変更申請など
　▶高齢者支援課（1 階 7 番窓口）

利用料金無料！

子育て情報がスマホひとつでわかる　ちとせ子育てアプリ

母子保健課　田村保健師

《ちとせ子育てアプリ》は、「切れ目のない子育て支援の充実」の実現に向け、生まれたアプリです。

妊娠や子育て中は、みなさん不安だらけだと思います。このアプリでは、市の子育て情報のほか、離乳食の作り方や子どもの急な体調不良への対処方法がわかる「子どもの救急」情報など、子育て支援につながる内容が盛りだくさんとなっています。

育児や仕事に忙しいママさん、パパさん、ぜひ登録してください。

便利なポイント

機能１　子育て関連情報の発信・閲覧機能
市の子育て関連情報の取得や、育児に必要な手続き、施設、イベントなどの検索がアプリから簡単にできます。

機能２　母子手帳機能
子どもの成長記録管理や予防接種・乳幼児健診のスケジュール管理が行えるほか、両親、祖父母など家族間で育児の情報を共有できます。

機能３　予約サービス機能
母子手帳の交付申請や各種相談、子育てイベントの予約がアプリから 24 時間行えます。

アプリの利用方法

①二次元コードを読み取るか、各アプリストアで「母子モ」を検索しダウンロード
②アプリのプロフィール登録で「自宅の郵便番号」を入力
③「ちとせ子育てアプリ」が利用できます

【アプリ名称】
「母子手帳アプリ　母子モ～電子母子手帳～」